

第3・4学年道徳指導案

主 題 名	周りの人々	B年度 12月
資 料 名	すもうの先生	4年生のどうとく（文溪堂）
学習指導要領の内容	2-(4) 尊敬 感謝 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。	
ね ら い	多くの人々に支えられて生活していることに気づき、尊敬し感謝しようとする態度を養う。	

段階	学習活動(主な発問と児童の予想される反応)	指導上の留意点
導 入	<p>1,自分たちが生活していく中で、どんな人たちにお世話になっているか考え、発表する。</p> <p>○毎日の生活の中でどんな人にお世話になっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さん、お母さんに世話になっている。自分たちのために働いてくれている。 ・バスの運転手さん。・先生。給食センターの人。 <p><問い返し></p> <p>○通学途中や、学校の行事の時のことを思い出してみましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になっている人々をできるだけたくさん出して、自分たちの生活が多くの人々に支えられていることを実感できるようにす
展 開 前 段	<p>2,「すもうの先生」を読んで話し合う。</p> <p>①すもうの先生とけいこをして、あきらくんはどんなことを考えているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生は強いな。 ・もっとけいこをして、強くなりたい。 ・ねむいな。もっとねていたかった。 ・先生もねむくないのかな。 ・先生のように元気ががんばろう。 <p>②あきはどんなことを考えて自分から「先生;こんにちは。今朝はありがとうございました。」と声をかけたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事があるのにぼくたちのために教えに来てくれるんだ。 ・すもうを教えた後も仕事をしているなんてすごい。 ・先生はすごいな。 ・先生はぼくたちのことを考えてくれて、いそがしいのに熱心に教えてくれているんだ。感謝しないといけないな。 ・ありがたい。 ・お世話になっているから。お礼を言いたい。 ・先生、いつもありがとう。と言う。 <p><問い返し></p> <p>○声をかけずに行ってもよかったのではないの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い日曜日の朝、ねむい体を動かすのもいやになるようなことを確認し、そんな中で熱心に教えてもらっていることに気づけるようにする。 ・どのようなときにすもうの先生が教えてくれているのか、意見が出ないときは、「いつ、どのように教えてもらってるのか。」問いかける。 ・あきは どうして、自分から声をかけたのか。より深く考えさせるために、望む姿の逆の行動で問い返す発問をする。(問いかけることで、あきのすばらしさに気づかせる。) ・感謝の気持ちを、声をかけるという行動で示したあきの素晴らしさに気づけるようにする。
展 開 後 段	<p>3,自分はふだん周囲の人々に感謝してきたかどうか考える。</p> <p>○どんな人に、どんな気持ちを持っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全にみんなを学校に運んでくれるバスの運転手さんに、ありがとうと感謝している。 ・運動会で荒城小のために地域の人が協力してくれる。そのおかげで運動会をやることができる。 ・学校の畑や田んぼで、機械でたがやしたり、脱穀をしたりする作業を手伝ってくれる人がいる。わたしたちのためにやってくれているからお礼を言えるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで普段自分たちがお世話になっている人々をできるだけたくさん出し、どんな気持ちを持っているかを見つめさせ、「ありがとう」の感謝する気持ちの大切さを確認する。 ・自分は、今まで周囲の人々に感謝していたか振り返る。 ・あきらのようにしているか、自分を振り返らせる。
終 末	<p>4,先生の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分もたくさんの人にお世話になっていることが分かった。これからは、感謝の気持ちで「ありがとう。」と言えるようにしよう。 	

